

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNO.

シートNO.

ボーリング名	B-1	調査位置					北緯	36° 20' 17.0000"		
発注機関	栃木県栃木土木事務所				調査期間	2007-02-26 ~ 2007-02-26		東経	139° 49' 33.0000"	
調査業者名					主任技師			現代場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	43.25 m	角度		方向		地盤勾配		使用機種	試錐機	ハンマー
総掘進長	8.45 m							エンジン		ポンプ

標尺	層高	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位(m) ／ 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試験深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
											深度	10cmごとの打撃回数			打撃回数 ／ 貫入量 (cm)							
												0	10	20								
(m)	(m)	(m)	(m)								(m)											
				盛土 (BS)	暗灰			最上部15cmは砕石。60cmまで径20～100mmの岩砕が混入するズリ砕石。以深はシルトとロームの混合土。木片が混入。含水大。														
1	42.20	1.05	1.05	ローム (Ln)	茶褐		軟らかい	腐植物が混入。下部、軽石散在。含水量は多く、粘性が強い。		02/26 1.95	1.15	1	1	3	35	3						
2	41.40	0.80	1.85	軽石 (Pm)	黄褐	非常に緩い	非常に軟らかい	最下部は砂が多く混入し半固結状含水量が非常に多い。			1.50											
	40.65	0.75	2.60	ローム (Ln)	淡茶褐		非常に軟らかい	腐植物が混入する。含水量は多く、粘性は中程度。			2.15			1	60	0						
3	39.75	0.90	3.50	砂質シルト (MS)	淡青灰		非常に軟らかい	上部は微細砂の混入が多く、下部は有機質土状。腐植物が混入し、軽石片が散在する。含水量は多く、粘性は強い。			2.75	1			60	0						
4	38.55	1.20	4.70	砂混りシルト (M-S)	緑灰		非常に軟らかい	少量の細砂や腐植物を混入。含水量は多い。			3.00	0			60	0						
5	37.75	0.80	5.50	礫混り砂 (S-G)	緑灰		非常に軟らかい	層相は不均質である。細砂・中砂が主体。全体に粒径は不均一である。最上部はシルトが混入する。径5～20mmの垂円礫や垂角礫が散在する。局部的に礫の密集部がある。			3.60	1			60	1						
6							非常に軟らかい				4.15				60							
7							非常に軟らかい				4.75				60	8						
8							非常に軟らかい				5.15	2	3	3	8	8						
							非常に軟らかい				5.45				30							
							非常に軟らかい				5.85				31	31						
							非常に軟らかい				6.15	9	9	13	30							
							非常に軟らかい				6.45				30							
							非常に軟らかい				7.15				24	24						
							非常に軟らかい				7.45	8	7	9	30							
							非常に軟らかい				8.15				32	32						
	34.80	2.95	8.45				非常に軟らかい				8.45	10	10	12	30						02/26	